

とこなめ市議会だより

NO. 160

令和3年8月1日 編集 / 発行 常滑市議会

〒479-8610 愛知県常滑市新開町4丁目1番地
TEL : 0569-47-6128 (直通)
E-mail : gikaigiji@city.tokoname.lg.jp



7月5日 新型コロナワクチン集団接種会場（新庁舎）の様子



6月2日 県防災航空隊合同訓練



6月12日 第6次総合計画策定に向けたまちづくり市民ワークショップ

〈目次〉

市政を問う（一般質問）P2～P6
市議会・委員会活動報告P6～P7
定例会、協議会報告P8



常滑市議会に関する定例会、委員会、協議会及び議長公務等の情報を中心に発信しています。



左記のQRコードから市議会HP及びフェイスブックに簡単にアクセスできます。

YouTube 一般質問録画映像
配信中



無料アプリ「マチイロ」を使って、「市議会だより」をスマートフォンやタブレット端末に配信しています。

一般質問（市政を問う）

議員名の横または下にある QR コードを読み取ると、各議員の質問映像を YouTube でご覧いただけます。

問 災害対策基本法の一部改正の対応はどうか

答 「避難勧告」廃止、「避難指示」での避難を周知



加藤代史子
議員



問 新型コロナウイルス接種について

問 現在までの接種人数、予約状況、今後の課題は何か。

答 6月6日現在2,867人が接種。70歳以上の予約80%。高齢者のWEB予約支援の体制についての検討が課題である。

問 障がい者や移動困難な高齢者への対応はどうか。

答 案内する職員を駐車場や会場に配置し、車いすやシルバーカーを準備している。

問 65歳以上の高齢者、7月末までの接種完了はどうか。

答 6月7日から個別接種も始まり、接種率70%の想定で、週1,000回で接種完了の予定である。

問 キャンセル分のワクチンの対応はどうか。

答 既に接種業務従事者29人に接種した。行政機能維持のための職員と保育士等を予定する。

問 基礎疾患を有する人への接種対応はどうか。

応はどうか。

問 6月11日から

25日までメール、FAX、郵送で自己申告を受け付けし、接種券を郵送、接種予約した。



問 「地域共生社会」実現のための「重層的支援体制整備」について

問 重層的支援体制整備についての考えはどうか。

答 高齢、障害、こども等分野を超えた組織体制、人材育成など先進地を調査・研究していく。

問 災害対策基本法の一部改正について

問 本市の対応はどうか。

答 「避難勧告」が廃止、「避難指示」となり避難行動が推進された。HP、CCNC、広報等で周知していく。

問 災害弱者の避難方法・支援策の考えはどうか。

答 個別支援計画策定中。大野地区4件、瀬木地区1件、広目地区6件が策定済である。

問 ゼロカーボンシティ宣言をしたらどうか

答 早期に表明をする



成田 勝之
議員



問 ゼロカーボンシティ宣言について

問 温室効果ガス排出量削減のために策定した、「第4次市内環境保全率先行計画」の実施状況や評価・点検・結果は現在どのような状況か。

答 市内環境保全講座を開催。令和2年度は平成28年度比約13%削減の見込み。8月以降にホームページで公表予定。

問 国からは区域施策編の策定も求められている。中部国際空港(株)は、5月に「セントレア・ゼロカーボン2050宣言」を表明した。本市も歩調を合わせて宣言すべきではないか。

答 計画策定に先立ち、「あいちゼロカーボン推進協議会」に加入した。5月24日現在、全国で389自治体が発言している。「あいち・とこなめスリーパーシティ構想」の提案にもゼロカーボンの実現を掲げており、「常滑市ゼロカーボンシティ宣言」を早期に表明する。

問 パートナリシップ制度について

問 過去に相談 問合せはあったか。また、市として研究・研修をしたことはあるか。

答 相談や問合せはない。研究や研修をしたことはない。

問 当事者たちは家族としてみなされないために不都合が多いと聞く。本市でも市営住宅には入居できない。制度導入を求めるがどうか。

答 当事者たちの不安、困難解消のために研究する。また、職員の研修に取り組む。



SDGs (持続可能な開発目標)

令和3年第2回市議会定例会の一般質問は、6月10日、11日に12人の議員が執行部と熱心なやりとりを行いました。問と答の内容はいずれも質問議員が執筆しました。なお、文責は質問議員にあります。

問 学童を実施する児童館の老朽化対策は

答 小学校大規模改造工事に合わせて移転



大川 秀徳
議員



本市における放課後児童健全育成事業
(児童育成クラブ)について

問 利用者が増加している鬼崎・常滑地区の受け皿確保へ、どのような検討がされているか。

答 鬼崎南小学校区では、令和3年7月から社会福祉協議会が新たな育成クラブの設置を予定。常滑東小学校区は、児童数のピークを令和5年度と見込んでいることから、児童育成クラブを新たに開設するか否かについて、現在の利用状況や児童数の動向などを基に検討していく。

問 児童育成クラブを実施する児童館の老朽化について、どのような検討がされているか。

答 改修ではなく、各小学校大規模改造工事に合わせて空き教室への移転を基本とする。大野小学校区は、令和3・4年度の2か年で実施予定の大規模改造工事において、児童育成クラブの教室整備を計画しており、令和5年度に移転できるよう準備を進める。



大野児童館

問 常滑市立図書館をイオンモール常滑に

答 必要な経費を含めて可能性を検討する



加藤 久豊
議員



常滑市立図書館について

問 常滑市は老朽化が著しい現在の図書館閉鎖に伴い、他施設との複合化施設として15年以内に新たな図書館を整備することを検討する方針であるが、その整備に向け財政的な課題や建設場所の問題などが山積していると推察する。

答 このまちで暮らす市民や未来を担う子どもたちのために、「図書館法」を根拠法とした公立図書館を望む声は少なくない。新しい発想で、視点を変えた考え方も大切である。そこで、常滑市立図書館をイオンモール常滑内に設置したらどうか。

問 文化施設の複合化に向けては、今後、建設場所や施設の規模、どのような機能を複合化していくのかなどを検討していく必要があるため、財政状況を踏まえつつ、できるだけ早期に着手できるように努めていく。イオンモール常滑のリニューアルスケジュールや改装費用、賃貸料等、様々な条件を確認し、指定管理料など入居した場合に必要な経費も含めて可能性を検討する。



イオンモールつがる内の市立図書館

問 全体計画を確実に進めるには

答 全市的視点で計画策定し事業運営する



中村 崇春
議員



下水道事業について

問 公共下水道が抱えていた課題と対策は。

答 「常滑市公共下水道事業経営戦略」で2つの課題がある。1つ目は水洗化率の向上で、下水道課全員体制で加入促進を実施、順調に推移。2つ目は膨大な建設改良費で、公共下水道事業は面整備や浄化センター整備等を実施。補填財源に国の補助金や一般会計繰入金・借入金を充てている。

問 企業会計にした効果や課題は。

答 1年間の経営成績や財政状況が明らかになり、将来的に債務超過を懸念している。

問 全体計画での未整備地域の今後の進め方は。

答 今年度、常滑市汚水適正処理構想を見直し、未整備区域での汚水処理施設の適正な処理方法と区域を明示。令和5年度に次期事業計画を策定。

問 公共下水道事業の全体計画を確実に進めるために下水道事業会計だけで資金を調達するのはなく、一般会計でも支えると思うがどうか。

答 下水道事業会計に毎年度約13億円の繰出金を見込む。実行可能な計画を策定するなど、全市的視点をもった事業計画の策定や事業の運営・経営に努める。

一般質問（市政を問う）

議員名の横または下にある QR コードを読み取ると、各議員の質問映像を YouTube でご覧いただけます。

問 本市のヤングケアラーの状況はどうか

答 独自の調査は実施していない



渡邊 十三香
議員



命を守る取組について

問 本市の令和2年の自殺者数は令和元年と比べてどうか。

答 11名で、令和元年に比べ3名増加している。

問 様々な悩みや生活上の困難を抱える人に対して、気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援につなげる人「ゲートキーパー」。令和2年度に実施した養成講座の対象者と受講人数は。

答 不特定多数の方を対象としたドラッグストアのイベントでは5名、老人クラブで開催したミニ講習会では47名に対し、理解者を増やす活動を実施。

問 認知症の人などの捜索に協力する「地域サポーター」の登録人数は何人か。

答 令和3年度末現在で553人。

命を育む取組について

問 地域における教育力の向上や子育て支援を充実させるためとこなめ子育て支援協議会が年2回発行している「しとねる」を全戸配布してはどうか。

答 現在配布している市役所、市内の子育て支援センター、幼保こども園、保健センターのほかに子育て世帯以外の人の目にも触れるように公民館等を追加する。

問 赤ちゃんから高齢の人たちへの生涯を通じた支援「とこなめ支援ガイドブック」を新たに作成して、支援してほしい側と支援したい側の情報を1冊にまとめてみてはどうか。

答 ガイドブックが一番適切かも知って今後検討していく。



問 ワクチン接種困難な通所サービス利用者の対応は

答 実施に向けた体制を検討中である



西本 真樹
議員



新型コロナウイルス対策について

問 感染者が自宅療養中に症状が悪化した救急搬送状況及び医療機関のベッド稼働状況と自宅療養患者の現状把握はどうか。

答 保健所の要請で、指定病院へ運ぶ。市民病院感染病床24床に対して中等症や重症者を中心に20人を超える入院患者を受け入れている。自宅療養中の患者は保健所が管轄しているため現状は分からない。

問 ワクチン集団接種の困難な通所サービス利用者は、施設で接種してはどうか。また、Web予約支援は、継続すべきでは。

答 通所サービス利用者については実施に向けた体制を検討中。6月も予約支援は実施した。また、予約マニュアルを作成し、市のHPやYouTube、CCNCでも放映している。

問 無症状者への定期検査や変異株の全数検査をすべきでは。

答 県が高齢者施設等の職員を対象に定期的な検査を実施している。市による検査は行わない。

デジタル化推進について

問 令和3年3月に「とこなめデジタル化推進宣言」を行った。進めるにあたって情報格差が出てくると思うがどうか。

答 デジタル化は手段の一つ。ニーズに合わせて具体的な取組を検討・実施する。

問 個人情報の漏えい防止策を問う。また、漏えい時の責任はどうか。

答 個人情報を扱うマイナンバー事務系のネットワークは、他とは分離され、情報の持ち出し不可設定やパスワードと指紋認証で防止する。万一、漏えいした時は適切に対応していく。

とこなめデジタル化推進宣言

人口減少、多様な社会において、これまでの行政サービスそのままで継続していくことは困難になっていくことが予想されます。また、新型コロナウイルス感染症により、社会のあり方や市民の生活スタイルにも大きな変化が起きています。デジタル技術の活用によるサービスの向上、市民生活の利便性の向上、行政サービスの効率化を図ることは、とこなめ市にとって重要な課題です。

宣言では、このたびは市民生活の暮らしの利便性を高めることを目的として、「デジタル技術を活用して行政・教育・生活より多くの分野にわたってデジタル化を進めようとする」という方針を掲げ、「とこなめ市」のデジタル化推進宣言を行います。

宣言では、市民生活に「ずっと快適に暮らそう」「ずっと安心、安全」「ずっと健康、元気」を掲げ、デジタル技術を活用して「暮らしの利便性」「教育の機会」「健康の維持」をなくし、「市民生活の向上」と「健康の維持」を推進してまいります。

また、情報のデジタル化を進めるだけでなく、必要に応じてその取り方を見直しを行い、開明性を高めることと暮らしの質や健康を向上させます。

とこなめ市のデジタル化推進宣言は、デジタル技術を使いこなすことが困難な方に配慮し、人々にやさしいまちづくりに取り組まします。デジタル化の推進にあたっては、デジタル技術を使いこなすことが困難な方に配慮し、人々にやさしいまちづくりに取り組まします。

2020年8月 市長 伊藤 真大

令和3年第2回市議会定例会の一般質問は、6月10日、11日に12人の議員が執行部と熱心なやりとりを行いました。問と答の内容はいずれも質問議員が執筆しました。なお、文責は質問議員にあります。

問 学校選択制について児童生徒へのアンケート調査

答 準備が整い次第、直ちに取り組んでいく



伊藤 史郎
議員



児童生徒や保護者に寄り添った
学校選択制の検討について

問 学校選択制導入のメリットとデメリットは、メリットは、特色ある学校づくりを推進できること。デメリットは、学校と地域とのつながりが希薄になることなどが挙げられる。他自治体での取組状況はどうか。

答 全国では約20%の学校が導入している。

問 市全域に及び学区再編の議論はしたか。

答 これまで市全域を対象に議論した実績はない。

問 児童生徒へのアンケート調査の実施や行政区へのヒアリングを行ったことはあるか。

答 ない。行政区へのヒアリングも含め、子どもたちの意向調査を行いたい。

問 教育委員会で議論すべきと思うがどうか。

答 まずは実態把握のためタブレットを利用したアンケート調査に注力したい。

問 距離による選択制など児童に寄り添うため、相談体制の強化も必要だと思うがどうか。

答 学校からの情報収集に努め、更なる強化を図る。



問 公民館等の通信環境の整備は

答 今後、補助制度の創設を検討



稲葉 民治
議員



各地区の公会堂及び
公民館の通信環境の整備について

問 各地区の公会堂及び公民館のインターネットやWi-Fi等の通信環境整備に関して、市の補助金制度を創設してはどうか。

答 現行の地区公会堂等補助金においては、Wi-Fi等の整備は補助対象としていない。

しかしながら、近年ライフスタイルを含めた社会経済のあり方が大きく変化しており、本市においても令和3年3月に「とこなめデジタル化推進宣言」を表明し、地域社会のデジタル化を掲げている。

公会堂及び公民館のインターネット環境の整備に向け、各地区の整備状況や移行を踏まえ、今後、補助制度の創設を検討する。



問 コロナ禍をのりこえる市長の覚悟は

答 前例なくとも市民の為なら積極的に



相羽 助宣
議員



市の新型コロナウイルス感染症防止対策の取組及びアフターコロナの市政運営について

問 新型コロナウイルス感染症による、財政への影響は。

答 当面は、毎年度10億円規模税収の減を見込む。税収減には、どのような対応を考えているか。

問 普通交付税による補填、事業のさらなる精査、創設したポータルレースまちづくり基金の活用などによる対応を考えている。

問 普通交付税の補填は10億円の何%を見込むか。75%を見込んでいます。

問 本市の税収減は空港関係等、産業構造的な面で影響を受けていると思われる。今後は、様々な業種を誘致していくべきと考えますがどうか。

答 空港関連事業者等の業績は大きく悪化しており、また空港関連従業員の転出もあり、市の人口は昨年4月以後、減少し続けている。今後、企業誘致にあたって、産業用地に関する重要調査を実施したいと考えている。また、観光振興の推進として旅行や観光に関する客観的なデータ分析に基づく顧客ニーズに合った、観光戦略を今年度策定し、地域の経済効果につなげる方を策を具体化していく。

一般質問（市政を問う）

議員名の横または下にある QR コードを読み取ると、各議員の質問映像を YouTube でご覧いただけます。

問 市政70周年にあわせ海釣り公園にしては

答 今後市としての土地利用を検討していく



井上 恭子
議員



空き地利活用の推進を

問 市保有の空き地の情報があれば市民に公開し、利活用しやすいデーターの作成を。

答 他市町の取組状況等も含め研究していきたい。

問 市保有地の雑草が生い茂りゴミ捨て場と化している場所は、市条例に基づき管理し、必要に応じ市民協働で行うべきでは。

答 市として費用を負担して管理する優先順位ではないが、アダプトプログラムの中で、物品の支給等相談させてもらう。

問 市政70周年にあわせ、浄化センター南の空き地を海釣り公園として人が賑わう場所とした土地利用活用してはどうか。

答 現時点では未定だが、今後、市としての土地利用を検討していきたい。

市民への的確なる情報公開
及び情報共有を

問 太陽光発電施設による土砂流出の対応は

答 施設運営事業者に改善指導し、是正した



盛田 克己
議員



太陽光発電施設設置基準について

問 山林等の大規模な土地開発で、太陽光発電施設が設置されているが、設置条件による申請があるのか。

答 施設設置条件により、それぞれの申請が出される。砂防地域、保安林、急傾斜地等は愛知県へ届出、1,000m以上の土地形状変更を伴う場合「常滑市土砂の採掘、埋立等土地の形態変更に関する指導要綱」の遵守に基づき届出が必要。

問 土地形態が変わる開発がされ、土砂の流出で被害を受けたり、その危険がある施設への対応はどうか。

答 設置事業者に改善指導の申し入れをした。

問 脱炭素社会に向け、太陽光発電施設設置が更に増えると思われる。被害を受けても泣き寝入り状況であり、景観問題、環境破壊に対処すべきであり、「常滑市太陽光発電施設設置等に関するガイドライン」の見直しが必要かと思うが。

答 「改正地球温暖化対策推進法」の成立に基づき、国から示されるマニュアル等に沿って必要であればガイドラインの見直しを検討する。

市議会の活動報告

ポートレースとこなめ新設スタンド現場見学会（6月22日）



とこなめ陶の森資料館リニューアル後の展示内容説明（6月22日）



文教厚生委員会活動報告(6月16日)

文教厚生委員会では教育委員会と意見交換を行うため「新型コロナウイルス感染症による学校教育への影響について」の勉強会を開催しました。勉強会では、市内児童生徒の感染状況及び対策の基本的なスタンスをはじめ、小中学校カリキュラムへの影響について児童生徒への精神的な影響、学校給食共同調理場での陽性者発生に伴う影響等について説明を受け、委員から積極的な意見等を提言しました。

市は集団接種会場においてキャンセルとなった新型コロナウイルスワクチン余剰分について、市内公立及び私立保育園、こども園、幼稚園の保育士等に対して、優先的に接種する方針を示しています。そこで当委員会では、集団接種会場でキャンセルとなった新型コロナウイルスワクチン余剰分の活用方法を拡充するべく要望書を市へ提出しました。内容は次のとおりです。

① 給食の安全・安心を守り、児童生徒に必要な給食提供を確実にする観点から、学校給食共同調理場職員を保育士等の次に優先されたい。

② 児童生徒の学習機会を保障し、発達・成長を守る観点から、密接に関係する小中学校教職員を学校給食共同調理場職員の次に優先されたい。



総務委員会活動報告(6月17日)

市は防災の強化を図るため、令和3年1月から防災専門員を採用しています。元航空自衛官の経験から市の防災の現状と課題についての説明を受け、その後、質疑応答を行いました。

平成30年7月豪雨と令和元年台風19号の災害の概要と住民の避難状況及び認識がわかるアンケート調査を参考にし、改正された災害対策基本法について学びました。

今後の防災テーマとして「自らの命は自らを守る」意識の高揚が挙げられました。参加者が避難の決心し、行動するまでに着眼点をおいた防災訓練の必要性から、地区防災訓練の機会を活用し、各地区の指導者層へ普及する旨の説明を受けました。

南北に長い常滑市特有の課題について質疑があり、防災専門員から安全協働課を中心に防災要領の確立に向けた研究報告がありました。

おわりに

- ハード、ソフトを改良しても、**本人の「自らの命は自らが守る」という意識**がなければ、避難には結びつかない。
- 意識を高めるためには、各人が考えている「難しい」ことを解消することが重要であり、これは**訓練を通じた経験**が有効である。
- 防災訓練等の機会を通じて、自主避難の苦手意識を克服し、逃げ遅れゼロを目指す。



「自らの命は自らが守る！」

勉強会資料 抜粋

市が行っているデジタル化の一例



市の手続きや制度に関する問合せに、AIが対話形式で自動応答するサービス。24時間365日利用可能で、自宅のパソコンやスマートフォンから気軽に問合せできます。

右記QRコードからアクセスできます。



デジタル化推進特別委員会活動報告

当委員会では、令和4年1月のタブレット導入に向け、正副委員長を含めた5人でプロジェクトチームを編成し、タブレットで使用するアプリの調査研究を行っています。

システム決定までの時間はあまりありませんが、現在、スケジュール管理や連絡手段のアプリについて、使い勝手、有料と無料で使用できる機能の違い、議会で必要となる機能、他アプリとの互換性等の調査をしています。

今後は、主に会議システムやオンライン会議の実施に向けた調査を進め、近々、協議会で試験運用を行う予定です。市へも協力を求め、書類をデータでも提出してもらいたいペーパーレスへの足掛かりとなるよう進めていきます。

令和3年 第2回市議会定例会審議結果

(6月7日～22日開催)

審議結果については、いずれも原案どおり可決されました。

議案名	議員名	会派名																
		香	笑	共	公	あ	政	新風	常翔会									伊
		渡邊十三香	伊藤直	西本真樹	加藤代史子	成田勝之	盛田克己	坂本直幸	井上恭子	大川秀徳	中村崇春	都築周典	稲葉民治	相羽助宣	伊藤史郎	加藤久豊	川原和敏	伊奈利信
議案第33号	令和3年度常滑市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第34号	常滑市職員の特種勤務手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第35号	三和南保育園大規模改修工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第36号	大野小学校南館大規模改造工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第37号	鬼崎中学校プール改築工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わりません。

会派名の香は新春会、笑は笑進会、共は日本共産党議員団、公は公明党議員団、あは新政あいちとこなめ、政は新政会、新風は新風クラブの略

※議会だより No.159 号の令和3年第1回市議会臨時会審議結果に誤りがございました。

深くお詫び申し上げますとともに、訂正したものを市ホームページに掲載しています。

市議会協議会

市政に関する重要な問題を全員で調査研究し、市政運営の円滑な推進を図るため、市議会協議会を開催しました。4月、5月の開催状況と提出された主な案件は次のとおりです。(6月は案件がなかったため開催しませんでした。)

第4回協議会(4月26日開催)

○常滑市地域強靱化計画の策定について

第5回協議会(5月21日開催)

○東京2020パラリンピック聖火フェスティバルについて

令和3年第3回市議会定例会会期日程(案)

8月30日(月) 開会、議案上程・説明
 9月1日(水)・2日(木) 一般質問
 9月3日(月) 議案質疑、委員会付託、予算委員会、決算特別委員会
 9月7日(火) 経済建設委員会
 9月8日(水) 文教厚生委員会
 9月9日(木) 総務委員会
 9月13日(月) 委員長報告、質疑、討論、採決(決算議案を除く)
 9月15日(水)・22日(水)・28日(火) 決算特別委員会
 9月29日(水) 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

一般質問等の模様は9月1日(水)・2日(木)の午前9時30分から(録画放送は午後7時から)ケーブルテレビ(CNC)で放送予定(再放送は9月5日(日)午前9時から)

市議会ワード Q&A

Q：定例会・臨時会って何？

A：定例会は、定期的に開催する議会の会議のことで、常滑市は年4回行くと決められています。臨時会は、緊急・必要に応じて開催される議会の会議です。

議会初日に日程を決め、市長から条例・予算・人事案件等、議員から条例や意見書、請願等が出され、議決を行います。議会を開くためには、市長が召集する必要があり、半数以上の議員の出席がないと議会を開くことはできません。

Q：協議会って何？

A：市民生活に影響のある市政全般に関することや、議会の運営に関することを議員全員で行う会議です。基本的に月1回開催しています。

地方自治法で定められたものではありませんが、市から重要施策の説明を受ける会議で、議員からの質疑、意見、要望等を出すことができます。

Q：請願と陳情って何？

A：市政などについて意見や要望があるときには、誰でも請願、陳情・要望を市議会に提出することができます。

ただし、請願は1人以上の議員の紹介が必要となります。

請願が提出された際は、本会議や該当する常任委員会で審議・審査し、その結果を請願者へ郵送で通知します。

陳情・要望は、議員の紹介の必要はなく、陳情・要望の写しを議員あてに送付して必要に応じて協議します。

請願等を採択することが決定した場合には、必要に応じて市長などに請願等を送り、その実現を図ります。